

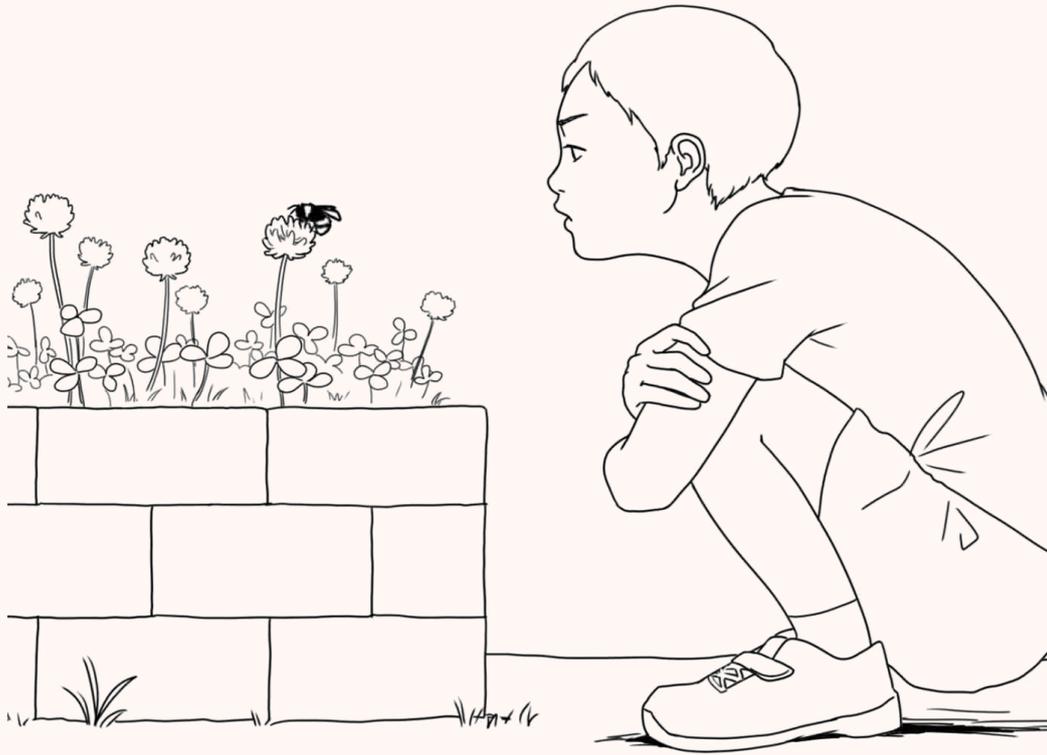
わる むし 悪い虫？

ぼくは虫が大好きだ。虫を捕まえて、カゴに入れてじっくり見る。見たあとはカゴから出して、自然にかえす。虫の本を見るのも好きだし、テレビやインターネットで虫の動画を見るのも好きだ。虫はいろいろな色や柄をしている。それぞれの色や柄に意味がある。メスにモテるためだったり、自分を強く見せるためだったり、いろいろな意味がある。それが、すごくおもしろい。

ときどき、ぼくの家の中に虫が遊びにくることがある。お姉ちゃんは虫が嫌いだから（嫌いというか、大嫌い）、きゃー！ と叫んで、ぼくを呼ぶ。ぼくは、虫を殺さずに、やさしく家の外に出す。虫は虫で、一生懸命生きているから、できるだけ殺さずに、自然にかえしてあげたいんだ。

虫が大好きなぼくは、いま、すごく悩んでいることがある。

「わる むし ころ
悪い虫」は殺していいのか、ということ。



Hinako

(Drawn by Hinako FUJIMURA)

ぼくが悩み始めたのは1年くらい前の春だ。その当時、ぼくはハチに夢中で、
家の周りや公園で、いろいろな種類のハチをじっくり見ていた。そして、ハチの
写真を撮って、本やインターネットで詳しい情報を調べていた。ハチのことを
詳しく調べるうちに、「悪いハチ」がいることがわかった。そのハチは、もともと
日本にはいなかったんだけど、30年くらい前に、農家の人たちが外国から連れて
きたらしい。そのハチがトマトの畑を飛び回れば、トマトがたくさんできる
んだって。そのハチがどんどん増えて、トマト畑だけじゃなく、他の場所にも
住むようになったらしい。そして、日本にもともといたハチの住む場所が減って
しまったんだって。

だから、^{くに}国の^{へらい}えらい^{ひと}人たちや、^{ぼく}ぼくの^{まち}町の^{へらい}えらい^{ひと}人たちは、その^{わる}「悪いハチ」
を^み見つけたら^{ころ}殺してください、^{って}って^い言ってる。^{まち}町のウェブサイトには、^{ころ}殺^{かた}し方も
の^{って}ってる。ペットボトルに、^{さら}お皿^{あら}を洗うための^{せんざい}洗剤と^{みず}水^いを入れて、その^{なか}中にハチ
を^い入れるんだ。

ぼくの^{いえ}家の^{ちか}近くにも、その^{わる}「悪いハチ」はたくさんいる。ある日、ぼくはその
ハチを^{いっぴき}1匹、^{あみ}網^{つか}で捕まえて、^{せんざい}洗剤と^{みず}水^{なか}の中^いに入れた。ハチは、ぶぶぶぶぶぶぶぶ、
と^{おお}すごく^{おと}大きな音をたてたあと、^{うご}動かなくな^{った}った。お母^{かあ}さんは「悪いハチ、やっ
つけたね」と^い言ったけど、ぼくは^{かな}すごく悲しくな^{った}った。

そのハチは、^{すご}すごくきれいな^{んだ}んだ。^{あたま}頭^{ほう}の方^{くろ}から、^{くろ}黒、^{きいろ}黄色、^{くろ}黒、^{きいろ}黄色、^{くろ}黒、
そして^{しり}お尻^{しろ}の^{ところ}ところがきれいな^{しろ}白。性格も^{せいかく}おとなしく^てて、^{にんげん}人間^{ちか}が^{近く}近くに^{いても}いても
^{こうげき}攻撃して^{こない}こない。

そのハチは、「^{わる}悪いハチ」なのかな？

^{だれ}誰^{わる}にとっての「悪いハチ」なのかな？

そのハチを^{ころ}殺すのはいいことなのかな？

^{だれ}誰^{わる}にとってのいいことなのかな？

ぼくは、すごく悩んでいる。生かすのと、殺すのと、どちらがいいのかわからない。わからないから、あの1匹を殺したあと、そのハチを見つけても、気づかないふりをしている。ぼくは、まだ悩んでいる。

(1124字)

(2022.6 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.